

議 事 概 要

県庁舎跡地活用検討懇話会の元委員との意見交換会

令和3年6月14日(月)
長崎県庁3階305会議室

元委員による主な発言を項目別に掲載(資料5「県庁舎跡地活用の検討状況」に関する発言)

県庁舎跡地活用全般

- ・県庁舎跡地に文化と人を繋げるようなものを造り、そこで歴史を感じて未来に繋げていけるような空間になるとよい。
- ・一つ一つのコンセプトに異論はない。
- ・建物は小さくしてお金をかけず、各地域からの出展などを支援してほしい。
- ・留学生や技能実習生など、長崎に来ている外国人の方々に長崎に残ってもらう、繋ぎとめるような機能を考えてほしい。
- ・広場が結節点になり、人が集まり四方向に流れていく場所になると考えるので、旧第3別館からの動線や江戸町商店街への動線を確保してほしい。
- ・閉じた空間を造らない、造るとしても可変性があることをキーコンセプトとして持ってほしい。
- ・広場の将来の使い方について、柔軟に可變的に考えていくことが必要。
- ・先行的な取組などを段階的に実施していくことは大事であるが、将来の全体像をイメージしながら進めていく必要がある。
- ・県庁舎跡地はシンボリックな存在であり、市民の憩いの場所であってほしい。
- ・賑わいづくりについては、江戸町、築町、浜の町などへ人々の誘導を図れるようなまちづくりが必要。
- ・人が集まる仕組みづくりが重要であり、活動団体を募り、年間プログラムを策定するなどの計画性が求められる。
- ・県庁舎跡地が持つ意味を踏まえ、付加価値の高いものを目指すべきであり、何でも詰め込むべきではない。
- ・平成26年3月に懇話会で提言をまとめ提出しているが、そこからほとんど変わっていない。
- ・バスベイなど、現在でもあれば便利なもの、必要なものを先行的に整備したり、石垣上にも出島を見下ろす場所を整備すれば観光客も来るようになるので、先行して整備することが考えられる。
- ・県庁舎跡地の整備にあたっては県と長崎市の連携も必要。

石垣上の敷地

- ・広場を賑わい創出の場としてもらいたい。
- ・賑わいの場、多様な交流などがあるが、広場の感覚(イメージ)が分からない。

- ・ホールが見直しとなり、誰がどうやって交流をさせていくか、仕組みを考えないといけない。
- ・広場について、屋根があるなどの差別化や、人を集めてどういう状態にしたいのかなどさらに検討する必要。
- ・広場は、この場所がイエズス会、奉行所、県庁と長崎の中心の場所だったので、人が集まるような場所である必要がある。
- ・出島の見聞とともに、出島から発掘された重要文化財を展示することで賑わいにつながる。
- ・懇話会において広場の整備を提言した理由の一つは、将来的にここに何かを作る自由度が増すからであり、広場が恒久的な空間という意味ではなく、未来に開かれた、これからの可能性で付加価値がつけられていく場所としての意味合いを持たせてほしい。
- ・広場を目的になる場所したり、回遊につなげる場所としてほしい。また、目的がなくても市民が集える場所であってほしい。
- ・広場は、賑わいを創出することは必要だし、のんびりと日なたぼっこができるような芝生が広がる空間にしてほしい。
- ・観光、物産の情報提供、一部販売もできる交流館的な施設がいい。
- ・長崎市が進めているホールと違い、芸術・文化の香りのする演奏スペースや、小演劇が演じられるような機能を備えた多目的施設がいいと思う。
- ・広場の一部エリアは雨をしのげるような機能が必要。また災害時には防災拠点として使えるようにしたほうがいい。
- ・懇話会の議論を踏まえれば、音楽系であれば、600～800人規模、演劇系であれば400～500人規模のホール機能がよいと思う。
- ・そもそも敷地も広くなく、都市計画的に言えば、この場所に芝生広場は考えられない。
- ・世界遺産センターをここに作ることは大切と考える。

石垣下の敷地（出土した石垣の利活用含む）

- ・石垣を活かすアイデアについてさらに検討してほしい。
- ・石垣の見せ方、どのようにアピールしていくかが重要。
- ・石垣だけを見に来る人はいないので、どうやって使っていくかをしっかり考える必要がある。
- ・出土した石垣のみを特別なものとして扱うのではなく、築町や樺島町を含め、長い岬が石垣で囲われた形で補強されたという、一体化した全体歴史として石垣の見せ方を検討する必要がある。
- ・石垣は時代によって積み方も違うなど、大事なものであり、石垣を身近に触れさせるような見せ方をしてほしい。
- ・石垣は場所ごと石組みが変わり、時代の変遷が感じられるので、実物を見せながら保存し、観光に使っていくことが必要
- ・石垣の価値付けにはついてはもう少し議論が必要である。熊本城の石垣に比べれば、そんなにたいした石垣ではないと思っている。
- ・一方で、長崎の都市にとって、あの位置や形状は非常に大事で、築町から樺島ま

で周囲を囲う形になる。時代が変遷しているので、その時代のものとは言えないが、その価値付けをきちんと整理する必要がある。

- ・バスベイについては交通拠点としての整備が望ましいのではないかな。

県警本部跡地

- ・コワーキングスペースは市内にも結構あるので重複しないようにする必要。
- ・セキュリティの問題で入る人が制限されるようなことなく、誰でもいつでも使えることを基本にしてほしい。
- ・県警本部跡地には、県庁舎跡地や出島を眺望できるような場所を整備してほしい。
- ・大学のサテライトなど有料のフロアと、無料の公共フロアを整備し、特に、産学官等が共同で使える場として、国内外の人や起業家などが新しい産業や活力を作り出す拠点にしてほしい。
- ・県警本部跡地については、今の考え方でいいと思う。県の施策の中で足りないものについて検討していくとよい。